



## 「放射線内部被曝から子どもを守るために」のDVDを上映

### プログラムの概略

シンポジウムの開会に先立ち、1時から「放射線内部被曝から子どもを守るために」のDVDを上映することになりました。

シンポジウムは1時30分から始めます。平田さん、呉東さん、井上さんにお話しをしてもらったあと、参加者からの質問に答えてもらうようになります。

今、チラシとともにアンケートを集めています。また、参加チケットの裏にも質問など書いて届けられるようになっていきますので早めに実行委員会に届けていただきたいと思います。

チラシ「第二弾！」発行、今回は大量に作ります。商店街や駅頭はじめ全戸への配布をお願いします。

またもや  
衝撃走る

## 首都圏直下大地震 震度7の可能性 従来を上回る想定

文部科学省のプロジェクトチームは3月7日、首都直下型地震の一つ「東京湾北部地震」について、東京湾沿岸地域などで従来の想定震度6強より大きな震度7となる可能性があるとして発表しました。

M7クラスの首都圏大地震が4年間で70%の確率という衝撃的発表があったばかりで、こんどはその地震の震度が大被害につながる震度7になるというのです。東京湾沿岸地帯のコンビナートや原子力空母は大丈夫でしょうか？。

今回の発表は、前回のニュースでお知らせしました平田先生たちが構築中の400箇所の観測点をもつ首都圏地震観測網（MeSO-net）の観測データに基づくもので、研究の成果が表れたものと思われます。

シンポジウムでさらに詳しいお話が聞かれると期待されます。

みなさんのご参加をお待ちしております。



「地盤の軟らかい埋め立て地などは大きく揺れる。中央防災会議の従来の想定よりも被害が大きくなる」と語るプロジェクトチームの平田直東大地震研究所教授